

Developers Summit 2015 参加報告

雨宮尚範

工学系技術支援室 情報通信技術系

はじめに

Developers Summit ではセッション講演や展示により技術や開発手法、製品、コミュニティなどについて情報が提供される。講演などを通じてさまざまな技術者の感じ方や考え方に触れることは、技術的視点や思考の幅を広げるためにも有意義であると考えられる。今回は、それに加えて業務に役立てられるような技術などの情報収集を目的として Developers Summit 2015 に参加した。

1. Developers Summit について

Developers Summit は翔泳社主催の技術カンファレンスである。学びの場としてのコミュニティを重視し、議論の活性化や会社などの壁を超えた交流を行うイベントとして 2003 年から毎年開催されている。今年のテーマは「Growth!」で、継続と改善のプロセスを重視した内容であった。

2. 開催概要

Developers Summit 2015 は平成 27 年 2 月 19 日（木）～20 日（金）に東京の目黒雅叙園で開催された。「Web」、「モバイル」、「クラウド」、「開発プロセス」などの分野について 92 のセッションがあり、それらは 7 つの会場で並行して行われた。各セッションは 45 分程度で、1 日の最後にあるセッションには最大で 90 分が割り当てられていた。セッションへ講演の参加は事前登録制で、参加登録は開催の 1 ヶ月程度前から Developers Summit の Web ページで行うことができた。

※スケジュールなどは固有名詞を含む項目があり、転載の許可を得ていないので省略する。

3. 内容について

今回の傾向として、新しい技術に関連するセッションや、技術の導入や開発手法の実践についてのセッションが多かったように思う。内容は前回と同様にクラウドやモバイル関係のものが多かった。また、新しい話題として、IoT や人工知能（機械学習）に関するものなどが加わった。今回は「Growth!」がテーマということで、継続的に改善していくような取り組みについてのセッションが印象に残った。

参加してみて、日常業務の改善に取り組み効率化していくことの重要性を感じた。また、講演者達が何を考えながら取り組んできたか知ることができたのは参考になった。

4. まとめ

Developers Summit 2015 に参加して情報収集を行った。セッション講演では技術や開発手法の他、開発環境の改善などについて話を聞くことができた。さまざまな取り組みについて、講

演者達が何を考えていたかを知ることができて、よい刺激になった。今回得られた技術的な知識や聴講で感じたことを業務に活かせるよう努めていきたい。

謝辞

Developers Summit 参加の機会を与えてくださった情報通信技術系の皆さま、貴重なお話をいただいた講演者の皆さま、ならびにイベントの実行に携わった多くの方々に感謝いたします。